

「おかしいな」から考えたこと

弓削小学校 四年

ぼくは、道徳の時間に迷信について学びました。この学習で、ぼくは迷信には二種類あると思いました。一つは、だれもきずつかない迷信。もう一つは、だれかをきずつけてしまうかもしれない迷信です。

ぼくが思うだれもきずつかない迷信は、「茶柱が立つといい事が起きる」とか、「まねきねこを置くと、商売はんじょうする」などです。こういう迷信は、「いいことが起こるかも」と思い、このことできずつく人はいないと思います。

だれかをきずつけてしまうかもしれない迷信は、「血液型で性かくが分かる」とか、「黒ねこが前を横切るとえんぎが悪い」とかです。ぼくも「A型はきちょうめん」や「B型はマイペース」とか聞いたことがあるけど、血液型とは関係ないし、人それぞれだと思います。それで性かくを判断されたり決めつけられたりしたら、ぼくはいやです。黒ねこの迷信は、先生の小学生時代の話聞いて

そう思いました。先生の友だちが黒ねこを飼っていることを知らずに黒ねこがいたから逃げて、友だちにいやな思いをさせたそうです。

迷信は、「みんなが信じているから」「本当っぽいから」などの理由で多くの人が信じていると思います。ぼくはこの学習をして、はっきりしないことを聞いた時はよく考えて行動しようと思いました。だれかがきずつく迷信か、見分けられるようになりたいです。